取扱説明書

つなぎかたガイド

接続・設定するときにお読みください

NEC

NWA-A15099-003-00
2024 年 3 月

Aterm® WX3000HP2 PA-WX3000HP2

本書は、読んだあとも大切に保管してください。

技術基準適合認証品

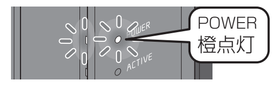
ユーザーズマニュアル はサポートデスクに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。(☛ 下記「本商品の取扱説明書について」)

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

重　要

本商品をご利用になる前に、必ず、裏面の「自動バージョンアップ機能に関する許諾について」をお読みください。

バージョンアップ中は、POWER ランプが橙点灯しますので、
絶対に本商品の電源を切らないでください。
※バージョンアップ中は、本商品に接続している端末との接続は切断され、数分間インターネット通信などができなくなります。

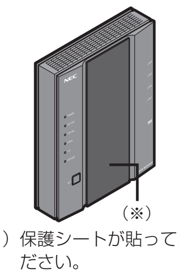


このたびはAterm WX3000HP2をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm WX3000HP2（以下、本商品と呼びます。）は、Draft IEEE802.11ax、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠した、IPv6対応のWi-Fi（無線LAN）ホームルータです。

箱の中身を確認する

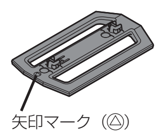
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ WX3000HP2



（※）保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

□ スタンド



<添付品>
- □ AC アダプタ
- □ LAN ケーブル（カテゴリ 5e ストレート）
- □ つなぎかたガイド（本書）
- □ 保証書（本書に含む）
- □ 無線 LAN 設定用 QR コード（シール）
  装置ごとに異なりますので、大切にお取り扱いください。

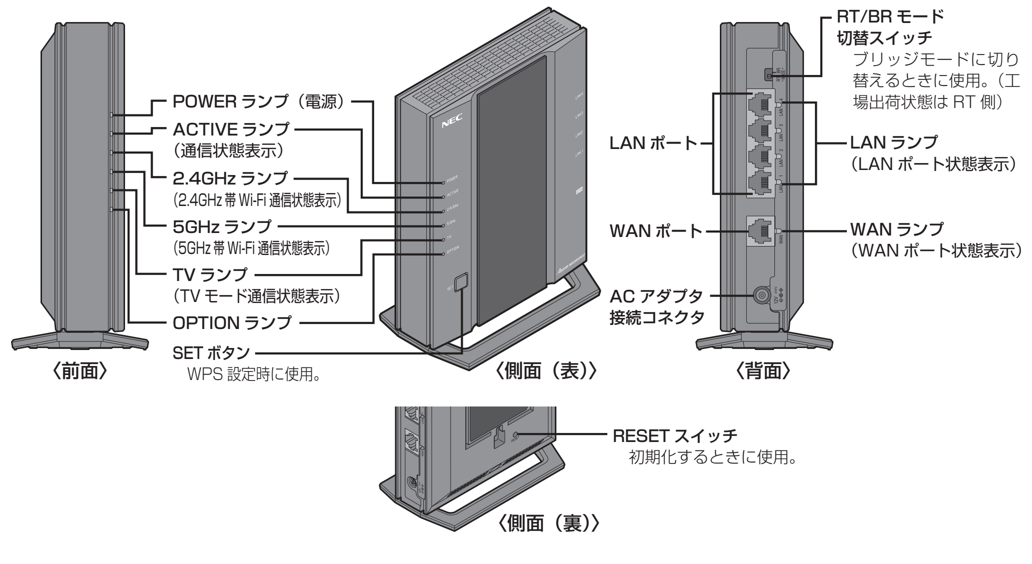
本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。（2024 年 3 月現在）

■ **つなぎかたガイド（本書）**
基本的な接続パターンを例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。
また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。

■ **ユーザーズマニュアル（Web サイトに掲載）**
商品のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。
また、本商品の基本事項についても記載しています。
→ 右記 QR コードまたは下記から参照してください。
サポートデスク（☛ 裏面「お問い合わせ・保守サポート」）－「マニュアル」－「ユーザーズマニュアル」

各部の名称



本商品の動作モードを確認する

本商品を設置・接続する前に、ご利用の動作モードをご確認ください。
※ ルータ機能内蔵のブロードバンドモデム側ですでにインターネット接続している場合、本商品はブリッジモードでご利用ください。

既存の親機と入れ替える場合は

既存の親機を取り外したあと、STEP1 → STEP2 → STEP3 → STEP4 の順にお進みください。

ブリッジモード（ルータ機能停止）で使用する場合は

裏面の「ブリッジモード（ルータ機能停止）で使用する場合は」を参照してください。

設置・接続をはじめる前に

事前に準備してください

- **接続事業者／プロバイダとの契約を済ませ、インターネット回線が開通していることを確認してください。**
- **接続事業者／プロバイダから提供された、インターネット接続設定用 ID（ユーザ名・ユーザ ID・認証 ID など）とパスワードが記載された書類を、お手元に準備してください。**
  ※接続事業者／プロバイダなどのサービスによっては、不要の場合もあります。
- **本商品をより安全にお使いいただくため、本商品の暗号化キーと管理者パスワードを決めて、控えておいてください。（STEP4 で設定します。）**

[暗号化キー]
暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。工場出荷状態では本商品本体のラベルと無線 LAN 設定用 QR コード（シール）に記載された値となりますが、本商品をより安全にお使いいただくため、**STEP4** にて、2.4GHz 帯、5GHz 帯それぞれに任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「暗号化キー控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた 13 桁以上の文字列をお勧めします。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、8 ～ 63 桁の半角英数記号 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、記号 ユーザーズマニュアル)、または半角 64 桁の 16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）です。

暗号化キー控え欄

2.4GHz 帯　プライマリ SSID：
セカンダリ SSID：
5GHz 帯　プライマリ SSID：
セカンダリ SSID：

[管理者パスワード]
管理者パスワードとは、本商品の設定画面を開く際のパスワードです。工場出荷状態では本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）となりますが、本商品をより安全にお使いいただくため、**STEP4** にて任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「管理者パスワード控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた 10 桁以上の文字列をお勧めします。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、最大半角 64 桁まで有効です。

管理者パスワード控え欄

STEP 1

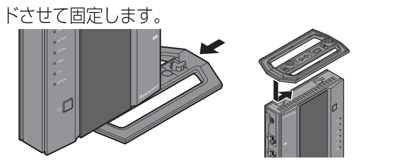
本商品を設置して電源を入れよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

※前後左右 5㎝、上 5㎝以内に他の機器や壁などがない場所に設置してください。壁掛けの場合は、壁掛け面を除きます。

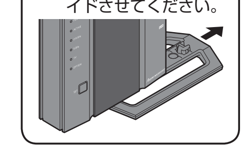
❶ **スタンドを取り付ける**
※ 本商品は、縦置きまたは壁掛けにてご使用ください。横置きでは使用しないでください。

■縦置きの場合
本体底面にスライドさせて固定します。

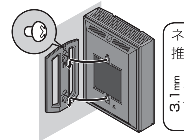


スタンドの矢印マーク (◬) を確認し、取り付け方向にカチッと音がするまでスライドさせる
※ スタンドの矢印マーク（◬）は縦置きの場合は本体前にくるよう設置してください。

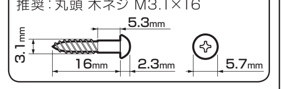
スタンドの取り外しかた
取り外し方向にスライドさせてください。



<壁掛けする場合の取り付けかた>
1. 壁に、スタンドの矢印マーク（◬）を上方向にしてネジで固定する
2. 本体側面（ラベル側）の取り付け穴を引っ掛けて、下方向へスライドさせて固定する
※ 取り外すときは、本体の両側を手で持ち、上方向へスライドさせてから取り外してください。



ネジ(2本)はお客様でご用意ください。
推奨：丸頭 木ネジ M3.1×16



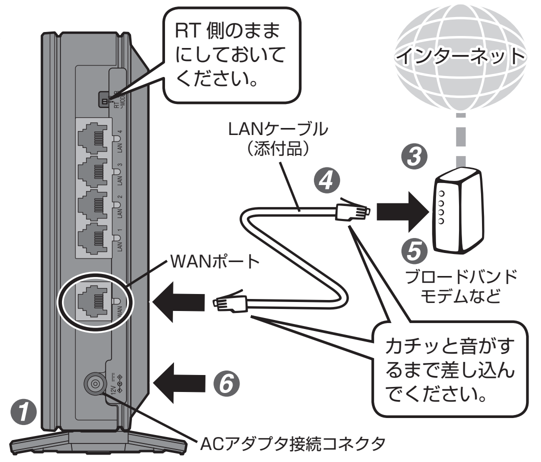
❷ **パソコンの電源を切る**
すでにインターネット接続している環境の場合は、ブロードバンドモデムなどに接続しているパソコンの電源を切り、パソコンから LAN ケーブルを外します。

❸ **ブロードバンドモデムなどの電源を切る**
<ブロードバンドモデムの例>
CATV モデム、ONU、ひかり電話対応ルータなど

❹ **本商品の WAN ポートとブロードバンドモデムなどを LAN ケーブルで接続する**

❺ **ブロードバンドモデムなどの電源を入れる**

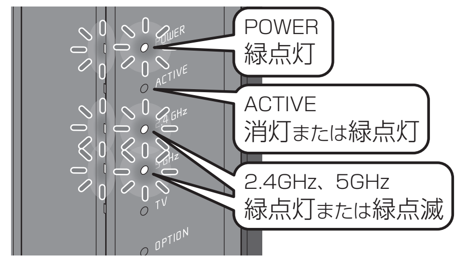
❻ **本商品の電源を入れ、約 90 秒待つ**
AC アダプタを本商品と電源コンセントに接続すると、本商品の電源が入ります。いったん側面（表）のすべてのランプが緑点灯します。正常動作するまで約 90 秒お待ちください。

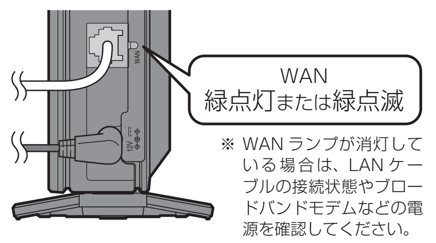


⚠警 告	● AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。 ● AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。火災、感電、故障の原因となります。
⚠注 意	● 本商品を重ね置きや横置きしないでください。重ね置きや横置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- **ACTIVE ランプが速い緑点滅をしている場合は**
  → 動作モードの自動判定中です。しばらくお待ちください。
- **5GHz ランプ、TV ランプが橙点滅している場合は**
  → 電波干渉を避けるためにチャネルをサーチしています。さらに約 60 秒お待ちください。

❼ **本商品の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが消灯または緑点灯、2.4GHz、5GHz、WAN ランプが緑点灯または緑点滅になることを確認する**





※ WAN ランプが消灯している場合は、LAN ケーブルの接続状態やブロードバンドモデムなどの電源を確認してください。

続いて、工場出荷状態の本商品に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。STEP2 へお進みください。
※ 本商品に有線接続する場合は、本商品と端末（パソコンなど）の電源を切った状態で本商品の LAN ポートに端末を接続したあと、両方の電源を入れて約 90 秒待ち、**STEP3** へお進みください。

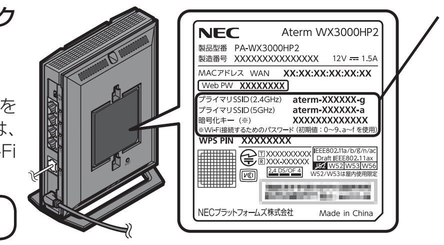
STEP 2

工場出荷状態の本商品にWi-Fi接続しよう

★本書では、無線LAN端末を子機と呼びます。

工場出荷状態の本商品に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。本商品のネットワーク名（SSID）および暗号化キーをご利用の子機に設定してください。
詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。
※ チャネルが W56 に対応していない子機をご利用の場合は、本商品の「オートチャネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「使用チャネル」を「W52」または「W53」に設定してください。設定は、クイック設定 Web（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」画面で行ってください。

2 台目以降の子機は、下記「暗号化キーを変更した本商品に Wi-Fi 接続する」を参照してください。


NEC Aterm WX3000HP2
製品型番 PA-WX3000HP2
製造番号 XXXXXXXXXXXXXXX 12V ⎓ 1.5A
MACアドレス WAN XX:XX:XX:XX:XX:XX
Web PW XXXXXXXX
プライマリSSID(2.4GHz) aterm-XXXXXX-g
プライマリSSID(5GHz) aterm-XXXXXX-a
暗号化キー（※） XXXXXXXXXXXXX
WPS PIN XXXXXXXX
NECプラットフォームズ株式会社 Made in China

本商品の工場出荷状態のネットワーク名（SSID）および暗号化キーは、本商品本体のラベルに記載されています。
※ 本商品本体のラベルには、プライマリ SSID が記載されています。
※ 暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキーなどとも呼ばれます。

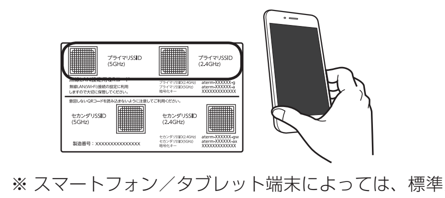
以下は Wi-Fi 接続方法の主な例です。

スマートフォン／タブレット端末の場合

無線 LAN 設定用 QR コードで Wi-Fi 接続する

本商品添付品の「無線 LAN 設定用 QR コード（シール）」に記載された「無線 LAN 設定用」の QR コードを読み取ることで、Wi-Fi 接続することができます。

❶ カメラビューで、無線 LAN 設定用 QR コードにあるプライマリ SSID の QR コードを読み取る

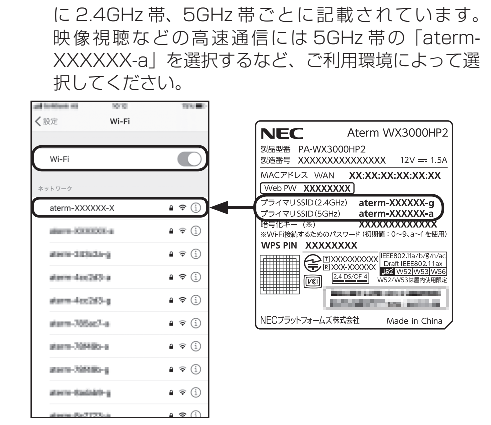


※ スマートフォン／タブレット端末によっては、標準カメラなどが QR コードによる Wi-Fi 接続に対応していない場合があります。その場合は、右記「手動で Wi-Fi 接続する」を参照してください。

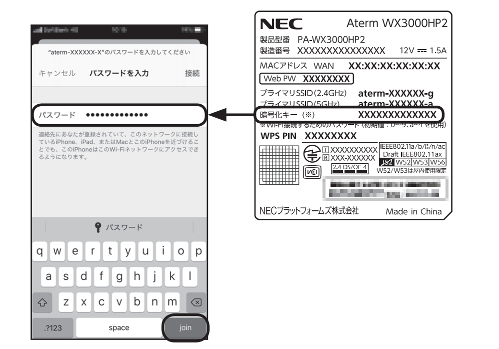
手動で Wi-Fi 接続する

※ 以下は iOS 端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

❶ ホーム画面などから［設定］をタップする
❷ ［Wi-Fi］をタップする
❸ 「Wi-Fi」をオンにして、本商品のプライマリ SSID と同じ名前をタップする
※ 本商品のプライマリ SSID は、本商品本体のラベルに 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。映像視聴などの高速通信には 5GHz 帯の「aterm-XXXXXX-a」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。



❹ 「パスワード」に、本商品の暗号化キーを入力し、「Join」（または「接続」）をタップする



❺ ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例　Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

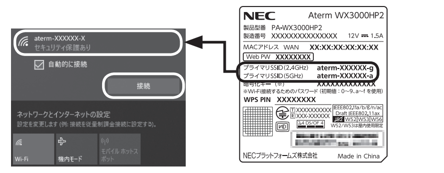
無線 LAN 内蔵パソコンの場合（Windows 11/10 の場合）

※自作のパソコンはサポート外となります。

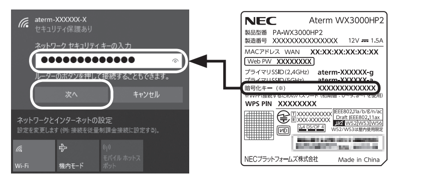
❶ パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

❷ 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする
Windows 11/10 の例
< Windows 11 の場合>
ネットワークアイコンをクリックし、Wi-Fi アイコンの右にある「>」をクリックする

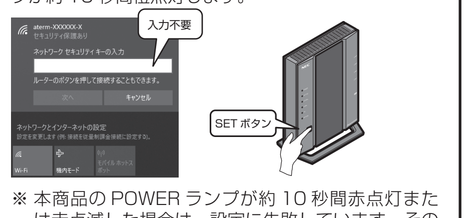
❸ ネットワークの一覧の中から、本商品のプライマリ SSID をクリックし、[接続] をクリックする
※ 本商品のプライマリ SSID は、本商品本体のラベルに 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。映像視聴などの高速通信には 5GHz 帯の「aterm-XXXXXX-a」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。



❹ 本商品の暗号化キーを入力して[次へ]をクリックする



WPS に対応した無線 LAN 内蔵パソコンの場合
WPS で設定できます。
手順❹の画面でボタン押下の案内が表示されたら、本商品の SET ボタンを長押し（約 6 秒）し、POWER ランプが緑点滅したら放します。
しばらくして Wi-Fi 接続が完了すると、POWER ランプが約 10 秒間橙点灯します。



※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順❶からやり直し、手順❹の画面で暗号化キーを入力してください。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

STEP 3

インターネットに接続しよう

❶ Web ブラウザ（Microsoft Edge、Google Chrome など）を起動する

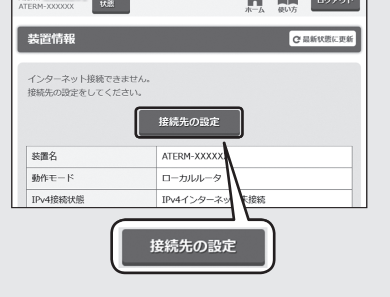
❷ 当社ホームページ（下記 URL）にアクセスする（2024 年 3 月現在）
https://www.necplatforms.co.jp/
アクセスできれば、インターネットの接続は完了です。

インターネットに接続できない場合は

1. Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力して、クイック設定 Web を起動する
   http://aterm.me/
   ※「http://192.168.10.1/」と入力しても起動できます。
   ※ ログイン画面では「ユーザー名」に「admin」（半角小文字）、「パスワード」に本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）を入力して、[ログイン] をクリックしてください。
2. 「装置情報」に表示されているメッセージにしたがう
   ※［接続先の設定］のボタンが表示されている場合は、下記「接続事業者／プロバイダ情報の設定(PPPoE)」で必要な設定をしてください。設定後、手順❶に戻って、再度インターネットに接続してください。

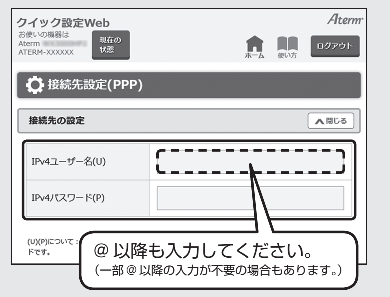
接続事業者／プロバイダ情報の設定(PPPoE)

1. 「装置情報」に表示されているメッセージにしたがって、［接続先の設定］をクリックする



インターネット接続できません。
接続先の設定をしてください。

2. 「接続先設定」画面で、接続事業者／プロバイダから提供されたインターネット接続設定用 ID（ユーザ名・ユーザ ID・認証 ID など）とパスワードを入力する



@ 以降も入力してください。
（一部 @ 以降の入力が不要の場合もあります。）

3. ［設定］－［OK］をクリックする

最新のファームウェアにバージョンアップすることお勧めします。（☛ 裏面参照）

インターネットに接続できたら、STEP4 へお進みください。

STEP 4

暗号化キーと管理者パスワードを変更しよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

本商品をより安全にお使いいただくために、暗号化キーと管理者パスワードは、初期値（工場出荷状態の値）から変更してください。
複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。
※ 工場出荷状態のままセカンダリ SSID に接続した場合は、クイック設定 Web を起動できません。プライマリ SSID に接続し直して、クイック設定 Web を起動してください。
※ 暗号化キーを変更した場合、無線 LAN 設定用 QR コード（シール）に記載の QR コードでは、Wi-Fi 接続できません。変更した暗号化キーを入力し、手動で Wi-Fi 接続してください。
※ セカンダリ SSID と暗号化キーは、無線 LAN 設定用 QR コード（シール）もしくは、ユーザーズマニュアル を参照しクイック設定 Web で確認してください。

❶ クイック設定 Web を起動する（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）

❷ 暗号化キーを変更する
2.4GHz 帯、5GHz 帯それぞれに任意の文字列を設定します。
「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定 (2.4GHz)」画面で、「対象ネットワークを選択」にてプライマリ SSID を選択し、「暗号化」を開いて「暗号化キー」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた 2.4GHz 帯の暗号化キー（任意の文字列）を入力して、[設定] をクリックしてください。暗号化キーを変更することで、子機からの Wi-Fi 接続が切断される場合があります。その際は右記「暗号化キーを変更した本商品に Wi-Fi 接続する」を参照して、Wi-Fi 接続をし直してください。
※ 暗号化キーは、変更した値を入力してください。

ホーム画面に戻る、またはクイック設定 Web を起動して、同様に 2.4GHz 帯のセカンダリ SSID、5GHz 帯のプライマリ SSID およびセカンダリ SSID の暗号化キーも設定してください。

❸ 管理者パスワードを変更する
ホーム画面に戻る、またはクイック設定 Web を起動して、[詳細な項目を表示] －「メンテナンス」－「管理者パスワードの変更」画面で、「現在のパスワード」欄に手順❶でログインした初期値の管理者パスワード（Web PW）を入力し、「新しいパスワード」「新しいパスワード再入力」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた管理者パスワード（任意の文字列）を入力して、[設定] をクリックしてください。

以上で、設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、
サポートデスクに掲載の ユーザーズマニュアル を参照してください。

暗号化キーを変更した本商品にWi-Fi接続する

★本書では、無線LAN端末を子機と呼びます。

暗号化キーを変更した本商品に、ご利用の子機から手動で Wi-Fi 接続します。
本商品のネットワーク名（SSID）および STEP4 で変更した暗号化キーをご利用の子機に設定してください。（接続する子機は、36 台以下をお勧めします。）
詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。
※ チャネルが W56 に対応していない子機をご利用の場合は、本商品の「オートチャネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「使用チャネル」を「W52」または「W53」に設定してください。設定は、クイック設定 Web（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」画面で行ってください。

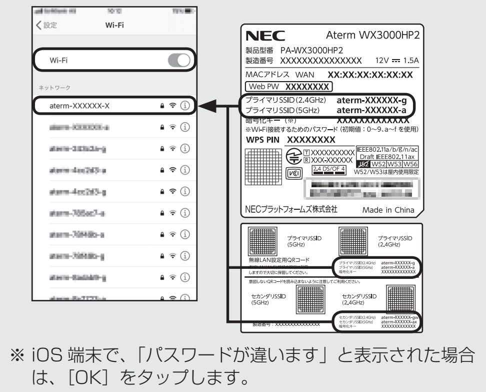
以下は Wi-Fi 接続方法の主な例です。

2 台目以降の子機を Wi-Fi 接続する際は、下記を参照して手動で設定してください。

スマートフォン／タブレット端末の場合

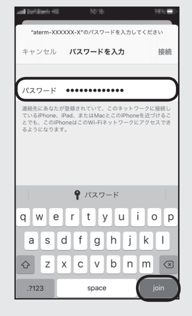
※ 以下は iOS 端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

1. ホーム画面などから［設定］をタップする
2. ［Wi-Fi］をタップする
3. 「Wi-Fi」をオンにして、本商品のプライマリ SSID もしくはセカンダリ SSID と同じ名前をタップする
   ※ 本商品のプライマリ SSID は、本商品本体のラベルおよび無線 LAN 設定用 QR コード（シール）に、セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定用 QR コード（シール）に 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。



※ iOS 端末で、「パスワードが違います」と表示された場合は、[OK] をタップします。
※ Android 端末で、本商品のプライマリ SSID もしくはセカンダリ SSID をタップしても手順4に進まない（「パスワード」の入力画面が表示されない）場合は、同じプライマリ SSID もしくはセカンダリ SSID をロングタップし、「変更」または「ネットワーク変更」を選択して、手順4に進みます。

4. 「パスワード」に、**STEP4** で変更した本商品の暗号化キーを入力し、「Join」（または「接続」）をタップする



5. ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

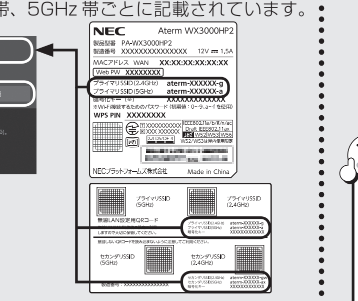
iOS 端末の一例　Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

無線 LAN 内蔵パソコンの場合（Windows 11/10 の場合）

※自作のパソコンはサポート外となります。

1. パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
   ※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
2. 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする
   Windows 11/10 の例
   Windows 11 の場合は **STEP2**「無線 LAN 内蔵パソコンの場合」の❷を参照してください。
3. ネットワークの一覧の中から、本商品のプライマリ SSID もしくはセカンダリ SSID をクリックし、[接続] をクリックする
   ※ 本商品のプライマリ SSID は、本商品本体のラベルおよび無線 LAN 設定用 QR コード（シール）に、セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定用 QR コード（シール）に 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。



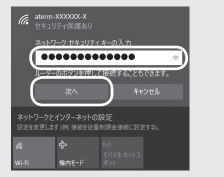
※ 接続に失敗した場合は、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

< Windows 11 の場合>
① 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンを右クリックする
② 「ネットワーク設定とインターネット設定」－「Wi-Fi」－「既知のネットワークの管理」をクリックする
③ 接続するネットワーク名（SSID）をクリックし、[削除] をクリックする

< Windows 10 の場合>
① 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンを右クリックする
② 「ネットワークとインターネットの設定を開く」－「Wi-Fi」－「既知のネットワークの管理」をクリックする
③ 接続するネットワーク名（SSID）をクリックし、[削除] をクリックする

上記の手順が完了したら、手順2に戻って接続し直してください。

4. **STEP4** で変更した本商品の暗号化キーを入力して [次へ] をクリックする



WPS に対応した無線 LAN 内蔵パソコンの場合
WPS で設定できます。（※）
STEP2 にある「WPS に対応した無線 LAN 内蔵パソコンの場合」を参照してください。
（※）本商品を WPA3 が含まれる暗号化モードに設定した場合は、WPS で設定できません。その場合は、手順4の画面にて、**STEP4** で変更した暗号化キーを入力してください。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
なお、さらに詳細な内容をユーザーズマニュアルに記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマークの説明

警告：人が死亡する、または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：人が軽傷（※ 2）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

（※ 1） 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。
（※ 2） 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
（※ 3） 物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号
- 一般注意
- 発火注意
- 感電注意
- 高温注意
- 破裂注意

■ 行為を禁止する記号
- 一般禁止
- 分解禁止
- ぬれ手禁止
- 水ぬれ禁止
- 風呂等での使用禁止
- 火気禁止

■ 行為を指示する記号
- 一般指示
- 電源プラグをコンセントから抜け

警　告

電源

- 100V AC の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。
- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 100V AC(50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。
- AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、e のような使いかたはしないでください。

a. 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
b. 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
c. 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき
d. 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき
e. 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注　意

設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90%の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きや横置きしないでください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないでください。次のような使いかたはしないでください。
  <悪い例>
  - 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - じゅうたんや布団の上に置く
  - テーブルクロスなどを掛ける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグ（形状によっては AC アダプタ本体）を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。90 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能に関する許諾について

●自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（☛ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
【更新があったら、すべてバージョンアップする場合】（工場出荷時の設定）
　「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
　「時刻指定バージョンアップ機能」：ON
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
　「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
　「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF

※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の［詳細な項目を表示］－「詳細設定」－「その他の設定」画面（ブリッジモード）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」画面にて設定できます。
※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加 / 変更を行います。意図しない機能追加 / 変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することもできます。
※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
※「重要な更新」とは、NEC プラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、事前に当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（「OFF」）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にすると、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」となります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。

<ファームウェアのバージョンアップ手順>
1. クイック設定 Web を起動する（☛ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
2. ホーム画面の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」をクリックする
3. 「ファームウェア更新」の［更新］をクリックする
   ※「ファームウェア更新不要」の画面が表示された場合は、ここで終了です。ログアウトをしてクイック設定 Web を終了してください。
4. メッセージ画面が表示されたら、内容をよく読んで［OK］をクリックする
5. 「ファームウェア更新中です。XXX 秒ほどお待ちください。残り XXX 秒 ...」と表示されるので、そのまましばらく待つ

電波に関する注意事項

●本商品は、技術基準適合証明を受けています。
●本商品は IEEE802.11ax の Draft 準拠製品です。現行の技術基準に則り、技術基準適合証明を取得しています。
●Draft IEEE802.11ax（5GHz 帯）、IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac
Draft IEEE802.11ax
~~J52~~ W52 W53 W56

・W52 （5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）、
W53 （5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）、
W56 （5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。
- W52 （5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
- W53 （5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
- W56 （5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）

●W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
●Draft IEEE802.11ax（2.4GHz 帯）、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
(1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
(2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。
●Bluetooth 機器との通信はできません。
●Draft IEEE802.11ax（2.4GHz 帯）、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4
■■■
IEEE802.11b/g/n
Draft IEEE802.11ax

2.4 ：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4 ：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ ：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

●本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人　電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法はユーザーズマニュアルを参照してください。）
●デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
- デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
- 万一 、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI－B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

⎓：直流

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細はユーザーズマニュアルを参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。
本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。
本商品に接続した端末の情報や、ご利用開始時の状態から変更した無線の暗号化キーなどの情報が、第三者に漏洩しないよう、本商品を初期化してから廃棄することをお勧めします。（故障等で初期化ができない場合を除く）

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
(5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
(6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。
※ この他にサポートデスク（☛ 右記「お問い合わせ・保守サポート」）にある「Q&A」でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらもあわせて参照してください。
※ 解決しない場合は、本商品を初期化（☛ 下記「初期化方法」）し、はじめから設定し直してお試しください。

■ CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない

ご使用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの順番で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

■ ACTIVE ランプが橙色に点灯している

故障や通信エラーではありません。ブリッジモード (ルータ機能停止) で動作している状態です。

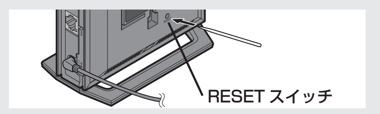
■ クイック設定 Web が開かない

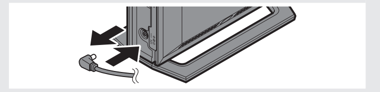
- ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。
- 「リモートワーク Wi-Fi（ネットワーク分離）」機能（工場出荷時にセカンダリ SSID の本機能は「ON」）が「ON」になっている場合は、「リモートワーク Wi-Fi（ネットワーク分離）」機能を「OFF」にしているネットワーク名（SSID）に接続、または有線接続してください。
- Web ブラウザの設定でキャッシュを使用している場合、キャッシュの削除をお試しください。

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。暗号化キー、管理者パスワードは初期値に戻り、お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化する前に、クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「メンテナンス」－「設定値の保存 & 復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。（ただし、管理者パスワードは復元できません。）
※初期化後、本商品をより安全にお使いいただくために、暗号化キー、管理者パスワードは初期値から変更してください。（☛**STEP4**）

1 本商品のPOWERランプが緑点灯していることを確認する
※ 電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、約90秒お待ちください。
2 RESETスイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で押し続け、POWERランプが赤点滅をはじめたら放す
※ POWERランプが赤点滅をはじめるまで約6～10秒かかります。
3 本商品からACアダプタのプラグを取り外して、約10秒以上待ってから差し込む
4 約90秒待つ
※ 側面（表）のランプが一斉に緑点滅したあと、POWERランプが緑点灯したら初期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。





本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。

クイック設定 Web の起動方法

本商品に Wi-Fi 接続または本商品の LAN ポートに有線接続した子機から起動します。

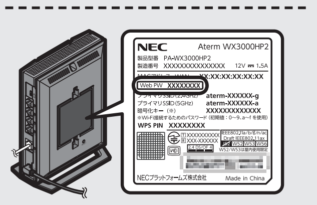
■ ルータモード（ACTIVE ランプ：緑点灯または消灯）で使用する場合

Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力し、起動してください。
http://aterm.me/
※「aterm.me」部分を、本商品の IP アドレス（工場出荷状態は 192.168.10.1）にして起動することもできます。

■ ブリッジモード（ACTIVE ランプ：橙点灯）で使用する場合

下記の手順で起動してください。詳細な方法はユーザーズマニュアルを参照してください。
1 本商品の電源をいったん切る
2 本商品の SET ボタンを押しながら電源を入れ、ACTIVE ランプが橙点滅したら放す
→本商品の強制 DHCP サーバ機能が起動します。起動中は ACTIVE ランプが橙点滅します。
3 Web ブラウザのアドレス欄に「 http://192.168.1.210/ 」を入力して起動する
クイック設定 Web を終了し、通常使用に戻る場合（強制 DHCP サーバ機能を停止するとき）は、本商品を再起動してください。（ホーム画面の［詳細な項目を表示］－「メンテナンス」－「再起動」画面で［再起動］をクリックしてください。）

※ ログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には管理者パスワードを入力して、[ログイン] をクリックしてください。管理者パスワードは、本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード(Web PW）が初期値となります。この管理者パスワードは、初期値から変更してください。（☛**STEP4**）なお、管理者パスワードを変更した場合は、クイック設定 Web 起動時には変更したパスワードを入力してください。忘れた場合は、本商品を初期化すると（☛ 左記「初期化方法」)、本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）に戻ります。
※ クイック設定 Web で設定した内容は、［設定］をクリックすることで登録されます。

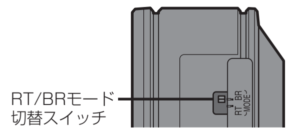


●本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続したスマートフォン／タブレット端末をご利用の場合
→「Aterm スマートリモコン」アプリ（無料）でも起動することができます。ユーザーズマニュアル
●本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続または有線接続したパソコン（Windows）をご利用の場合
→「Aterm 検索ツール」でも起動することができます。ユーザーズマニュアル

ブリッジモード（ルータ機能停止）で使用する場合は

別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のブロードバンドモデムなどに本商品を接続する場合は、ブリッジモード（ルータ機能停止）を使用します。
ブリッジモードに設定するには、下記の手順で設定してください。

① **本商品の電源を切った状態で RT/BR モード切替スイッチを BR 側に切り替え、本商品の電源を入れる**
※ しばらくして ACTIVE ランプが橙点灯すれば、ブリッジモードに設定完了です。
※ ルータ機能内蔵のブロードバンドモデムなどとの接続には、本商品の WAN ポートをご使用ください。
② **STEP4 を参照して、本商品の暗号化キーと管理者パスワードを初期値から変更する**



お問い合わせ・保守サポート

（2024 年 3 月現在）

■ ホームページ「サポートデスク」

https://www.aterm.jp/support/wx3000hp2/index.html

- Aterm の機能、操作、設定についてご不明な点がある場合は、サポートデスクを参照してください。
  サポート情報の閲覧やソフトウェアのダウンロード、「Q&A」でご不明な点の検索などができます。
- 「故障かな？」と思われた場合は、本書に記載の「トラブルシューティング」をご確認ください。
- Aterm インフォメーションセンターの窓口については、サポートデスクの「お問い合わせ」をご確認ください。

■ 保守サポート期間

- 本商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品、以下、保守部品）は、販売終了後、約 5 年間保有しております。
- 保守部品の保有期間（以下、保守期間）が終了しますと、修理受付や添付品の販売受付も終了いたします。
  また、電話などによるお問い合わせサポート業務も終了させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 保守期間の確認は、「Aterm のサポート期間について（https://www.aterm.jp/support/inquiry/hoshu_list.html)」を参照してください。

■ Aterm は、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。　■ Wi-Fi、Wi-Fi Alliance および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。　■ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
■ Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。　■ Google Chrome、Android は、Google LLC の商標または登録商標です。　■ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
■ Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。　■「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。　■その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。
© NEC Platforms, Ltd. 2021-2024　NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。